

令和4年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立蒲刈中学校
(蒲刈中学校区)

全国平均値との差

	国語	数学	理科
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0	
令和8年度	—	—	—
令和7年度	—	—	—
令和6年度	—	—	—
令和5年度	—	—	—
令和4年度	+4.0	-2.4	+3.7

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 <u>73%</u> 全国 <u>69%</u> 県 <u>69%</u></p>	<p>重点課題</p> <p>◎◇物語の展開に従って、叙述を根拠に心情変化を捉えることに課題がある。(設問3三)【読むこと】(正答率50%, 全国平均との差-12%)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎◇文学的文章の内容理解を行う際に、登場人物の発言や登場人物の行動描写、情景描写など、叙述を根拠に心情変化を読み取る学習活動を多く設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎◇心情変化に関する学年末試験の問題 (第3学年 1月, 第1・2学年 2月) 目標70%→結果71.8%</p>
<p>数学</p> <p>本校 <u>49%</u> 全国 <u>51.4%</u> 県 <u>50%</u></p>	<p>重点課題</p> <p>◎◇目的に応じて、表やグラフからデータの特徴や傾向を適切に読み取ったり、それらを根拠に判断の理由を説明したりすることに課題がある。【データの活用】(正答率45.8%, 全国平均との差-11.3%)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎2学期に、「関数」領域の指導の中で、数量を整理し、表や式、グラフに表したり、それらを関連付けて読み取ったりする活動を取り入れ、データの活用の基盤を作る。3学期には、「データの活用」領域の学習で、複数のデータの特徴や傾向を読み取り、数学的な表現を用いて「説明する場」を意図的に多く設定する。 ◇前期では、いろいろな数量を分類・整理し、表やグラフに表したり、その特徴を読み取ったりする活動に重点を置く。中期・後期では、複数のデータの特徴や傾向を読み取り、数学的な表現を用いて理由を説明する活動に重点を置く。</p> <p>検証</p> <p>◎◇「データの活用」領域に関する学年末試験の問題 (第3学年 1月, 第1・2学年 2月) 目標65%→結果71.0%</p>
<p>理科</p> <p>本校 <u>53%</u> 全国 <u>49.3%</u> 県 <u>49%</u></p>	<p>重点課題</p> <p>◎図や表、グラフから必要な情報を適切に読み取ったり、実験結果を考察したい内容に合わせて整理したりすることに課題がある。(設問5(2))【地学】(正答率0%, 全国平均との差-45%)(設問8(3))【生物】(正答率0%, 全国平均との差-30.4%) ◇考察したいことに応じて、図や表、グラフから適切に必要な情報を読み取り、それらを整理したり説明したりすることに課題がある。(設問5(2))【地学】(正答率0%, 全国平均との差-45%)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎各学年の授業において、図や表、グラフなどの資料から読み取れることについて粘り強く考え、交流する場面を多く設定する。そして、読み取った結果を表やグラフなどに整理・表現する練習を重ねる。 ◇実験や観察をした結果を表やグラフなどに正確にまとめる活動、考察したいことに応じて表やグラフなどから必要な情報を読み取る活動、読み取ったことを表やグラフなどに整理したり説明したりする活動を多くする。</p> <p>検証</p> <p>◎◇図やグラフを読み取ったり、実験結果をグラフで表したりする学年末試験の問題 (第3学年 1月, 第1・2学年 2月) 目標60%→結果59.2%</p>

【来年度に向けて】

今年度の調査から分かった課題は、①「心情変化の読み取り」と②「図や表、グラフ、データの読み取り」の2点である。課題①は主に国語・音楽・美術・道徳において、課題②は主に社会・数学・理科・技術・総合的な学習の時間において関連する内容を学習する際、生徒の実態を把握しながら丁寧に指導する。全教職員が課題①・②を意識し、学校の教育活動全体を通じて課題の克服を図る。